

施策マネジメントシート

施策名	行政評価施策体系	いきいきとした産業のあるまち	施策統括課	産業振興課	氏名	青木 稔
政策名		まちをつかう	施策関係課			

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・市内の商店(卸、小売) ・市内の製造業、事業所 ・市民 ・全国の優良企業	➔
意図(対象をどう変えるのか) ・事業を維持・発展している ・事業を新たに起こす ・市内で企業活動を新たにしてもらう ・市内を回遊し、まちがにぎわう	➔

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない		
名称	単位	
ア 市内の商工業者数	事業所	
イ 人口	人	
ウ		
エ		
成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない		
名称	単位	
ア 商業の年間販売額	百万円	
イ 工業の年間出荷額	百万円	
ウ 市が誘致した延べ事業所数	事業所	
エ 市内の新設事業所数(年間)	事業所	
オ		

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
魅力ある商店街づくり	空き店舗の活用をしていきます。イベントの開催が販売促進に結び付くよう促します。"くにたちらしさ"を活かした魅力ある商品開発を進めていきます。
中小企業の経営体力の強化	中小企業事業資金融資あっせん制度をさらにPRしていきます。
企業誘致の促進	まちづくり協力金・立地協力金・利子補給補助金などの奨励制度をさらにPRしていきます。
人がにぎわうまちづくり	起業しやすい環境づくりを推進します。地域資源を活かした回遊性のあるまちを推進します。
農工商、観光との連携	商品・サービス等の国立ブランド化を図ります。農工商、観光の多様な連携を進めるとともに積極的な情報発信し、地域の活性化を図ります。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
対象指標	ア 事業所	見込み値					2,820	2,820		2,640				
		実績値	2630(H18)		2,630				2,640					
	イ 人	見込み値										76,000		
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381					
ウ 人	見込み値													
	実績値													
エ 事業所	見込み値													
	実績値													
成果指標	ア 百万円	成り行き値						187,000		187,000		187,000		
		目標値						190,000		193,000		200,000		
	実績値	187,486(H18)	187,486(H18)	187,486(H18)	187,486(H18)	187,486(H18)	187,486(H18)	187,486(H18)	187,486(H18)					
	基本計画における施策の目標設定の根拠		2011(平成23)年度以降は企業誘致や清化圏跡地の活用などで地域経済活性化が期待できるものと見込み、目標値を設定しました。											
	イ 百万円	成り行き値								4,448		4,537	4,600	
		目標値								4,448		4,537	4,600	
	実績値	6,800	5,419	4,361	3,762	5,937	3,465	3,465(H24)						
	基本計画における施策の目標設定の根拠		現況の市場性や経済動向にも配慮すると共に事業者の新たな商品開発等積極的な事業展開を期待し、5年間で現状値の5%増を目標値に設定しました。											
	ウ 事業所	成り行き値							4	6	8	10	12	14
		目標値							4	6	8	10	12	14
実績値	0	0	2	4	8	11	14							
基本計画における施策の目標設定の根拠		土地の広さに見合った企業へのアプローチを積極的にを行い、2009(平成21)年度の実績ベースを今後も維持すると見込み、目標値を設定しました。												
エ 事業所	成り行き値											870		
	目標値											870		
実績値	720(H18)	720(H18)	319	319(H21)	319(H21)	172	172(H24)							
基本計画における施策の目標設定の根拠		観光資源の掘り起こしによる他市からの来客数が増加することを見込み、5年間で10%程度のさらなる増を目指すこととしました。												
オ	成り行き値													
	目標値													
実績値														
基本計画における施策の目標設定の根拠														
事務事業数		本数	11	11	12	12	12	18	18					
施策内コスト	財源内訳	国庫支出金	千円											
		都道府県支出金	千円	13,461	11,107	11,326	14,467	13,232	20,310	18,442				
		地方債	千円											
		その他	千円						67,010					
		一般財源	千円	56,646	85,888	61,459	65,611	37,949	154,879	172,515				
	事業費計(A)	千円	70,107	96,995	72,785	80,078	118,191	175,189	190,957	0	0			
人件費	延べ業務時間	時間	2,232	4,765	6,256	6,210	6,148	12,113	10,910					
	人件費計(B)	千円	8,556	15,114	16,688	16,735	20,240	42,970	41,397					
トータルコスト(A)+(B)		千円	78,663	112,109	89,473	96,813	138,431	218,159	232,354	0	0			

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

東日本大震災及び福島原発事故により市内商工業者が受けた影響からの回復が見えないなか、電気料金の値上げ、さらに政権交代による円高から円安に移行したことにより生産コストが上昇した分を価格転嫁できない中小企業には厳しい状況となった。また、リーマンショック後に施行された中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律の時限が平成24年度に到来したことから倒産の危機が引き続き危惧されることである。また、平成26年4月1日からの消費税増税を控え、駆け込み需要で売上げが上昇した業種もあったが今後その反動による消費の停滞が危惧されることである。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

利害関係者から市内の商工業者は疲弊し活力がなくなっているとの意見がある。アンケート調査では商店街には頑張してほしいとの声が多くあった。議会からは、融資利用者の利便性や、中小企業等振興会議の効果的な運営などの要望があった。

5 25年度の評価結果

(1) 25年度行政経営方針の取組状況

25年度行政経営方針	取組状況
	商店街振興では中小企業等振興会議において矢川メルカード商店街活性化に向けた検討内容を中間答申としてまとめ、実践段階に入ったところである。3つの商店会で装飾灯照明のLED化を行った。地域振興では、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を職員が踊り、AKB48の公式サイトにアップし30万件近くの再生回数を記録した。また、国立駅周辺の3つの商店会・一橋大学・商工会青年部を中心に「くにたちミュージックフェア」を開催した。企業誘致では、新たに1社の企業進出と2社の増設があった。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)	
成果指標ア【商業の年間販売額】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)
成果指標イ【工業の年間出荷額】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)
成果指標ウ【市が誘致した延べ事業所数】	<input checked="" type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)
成果指標エ【市内の新設事業所数(年間)】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)
成果指標オ【】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)
成果指標カ【】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下) C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	
他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い) C:他自治体と比べてほぼ同水準である	
背景として考えられること ア...指定企業の市内購買、フレスポ南の商業施設への来店者は多いが、既存商店等の売上げは減少している。 イ...製造業の国外移転や購買意欲の低下による需要減 ウ...あっせん協力者を使った土地所有者と企業とのマッチング効果 エ...リーマンショック以降の景気低迷により起業環境が低下し、チェーン展開している店舗の進出が多い 企業誘致と清化園跡地活用による成果は高いが既存企業の活性化の遅れ 誘致企業数では成果が上がっているが商業振興全般では疲弊している	

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

企業誘致、地域振興及び商店街振興は成果が見られたが製造業建設業等の工業振興に実績が見られなかった。朝顔市補助金は、事業に収益性があることから不測の事態以外は補助金を支出しないことでコストの削減を図った。企業誘致促進事業では、条例施行後5年を経過したことから条例の見直しを行った。また、さらなる歳入増を図るためロケーション撮影による行政財産の使用料を定め徴収することができた。事業資金融資3事業の見直しを検討する。

6 施策の課題・今後の方向性

アベノミクスによる経済政策によりもたらされた円安による物価の高騰や、原発の停止による電気料の値上げの影響などが中小企業に影響を与えている。また、消費税増税を控え駆け込み需要とその反動による買い控えなど商店を含む中小企業の先行きは不透明である。シティプロモーションの観点から観光懇談会を立ち上げ市民の意見を吸い上げ検討する。